

# 篠山重要伝統的建造物群保存地区選定20周年記念式典について

令和6年12月に、城下町篠山の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建地区)に選定されて20年を迎えます。重伝建地区に選定されて以降、保存修理事業や河原町通無電柱化事業等の取り組みによる歴史的町並みの魅力向上に伴い、地区内には多くの観光客が訪れ、賑わいを見せています。

また、丹波篠山まちなみアートフェスティバルや、110年ぶりに鉾山の屋根に鉾を復活させた鉾山巡行の取り組みなど、重伝建地区の町並みを活かした活動を通じ、地域のみなさんの町並み保存継承の意識がより一層高まってきています。

一方で、少子高齢化などによる人口減少に伴い、伝統的な建物や魅力ある町並みを次の世代にどのようにつないでいくかが新たな課題となっています。

このことから、重伝建地区選定20周年を迎えるにあたり、これまでの活動を振り返りつつ、今後の町並み保存継承にどう取り組むのかを市民のみなさんとともに考えます。

## プログラム(13:15～16:00)

**アトラクション** 民謡披露 勢真(民謡アーティスト)

開会

功労者表彰・優良新築修景表彰

**基調講演**

「重要伝統的建造物群保存地区選定20周年記念  
これまでの20年 これからの20年」

講師 京都橘大学文学部歴史遺産学科

教授 むらかみ やすみち  
村上 裕道 氏

休憩

**パネルディスカッション**

「文化あふれるこの町を世代を超えて守っていく！」

○コーディネーター

村上 裕道 氏

○パネラー

くろだ りゅうじ  
黒田 龍二 氏(第24期文化審議会委員・神戸大学名誉教授)

さいもと けんじ  
才本 謙二 氏(町並み景観保全協力建築士)

あだち よしのり  
足立 義則 氏(丹波篠山市商工同友会会長)

兵庫県立篠山鳳鳴高校インターアクト部

かわばた のぼる  
川端 登(篠山まちなみ保存会会長)

**講評**

文化庁文化財第二課伝統的建造物群部門

たかはし なるみ  
文化財調査官 高橋 成美 氏

閉会

**パネル展示(10:00～16:00)**

篠山小学校の児童が篠山まちなみ保存会の協力により取り組んだ篠山伝建地区での活動事例や伝統的な建物の利活用事例についてパネル展示を行います。



## ■村上 裕道 氏 プロフィール

高砂市出身。(財)文化財建造物保存技術協会、兵庫県教育委員会に勤務後、文化庁地域文化創生本部総括・政策研究グループ研究官を務めた。現在は高砂市立図書館名誉館長、京都橘大学文学部歴史遺産学科教授。

この間、重要文化財建造物の保存修理、震災復旧等を担当した他、地域の歴史的建造物を再発見し活用を図る、民間推進リーダー(ヘリテージマネージャー)の育成を推進するとともに、文化財保護の運用体制の整備に係る「文化財保存活用地域計画」の推進に取り組んだ。

